

NPO法人 ナルク (NALC)埼玉西

さいさい
彩西

—第 259 号—

【発行】NPO(特定非営利活動)法人

ナルク(NALC)埼玉西

【事務局】〒359-1106

所沢市東狭山ヶ丘 1-45-17

田淵頼孝(代表)方

Tel 04-2926-9787

email tabutuchiyoritaka@gmail.com

年頭に当たり、ご挨拶申し上げます

皇紀2683年 西暦2026年 令和8年 午年を迎えて

代表 田淵 頼孝

ナルク埼玉西の会員の皆さま、ご家族様、新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまのご健康とご多幸な日々でありますよう、切に祈っております。

今年の干支は7番目の午年(馬)です。午年にあやかり日々、軽快な足音を残せる生活にして行きたいものです。

会員同志の対話とつながりを大事にしていきましょう

ナルク埼玉西は、2001年(平成13年6月)発足し25年を経過し、会員の老齢化と減少が続いています。発足以降の特に公的機関の高齢者対策(地域包括支援センターの充実)が向上して、この方面のナルクの役目は減少したと思います。但し人間は集団生活で安心、安全、快適を保持して生活することを目標にしています。ナルクは会員同士が会話などで繋がる事だけでも大変意義のあることです。

会員同士が大いに面談して、日々の楽しい安心して生きるすべなど会話することも有意義なことでしょう。皆さん、よい年に向けた、前向きな考えで日々の生活をしましょう。

みんなで考え、みんなで行動を展開しよう

顧問 飯田 康夫

2026年の新春を迎え、新たな気持ちでナルクの存在感を高めてまいりましょう。ナルク誕生の前夜から、初代会長の故・高畑さんとの交流があって、相談を受けた体験から、ナルクには愛着を持っています。そのナルクが今年から「ナルク発展5か年計画推進委員会」を発足させ、仲間を増やす、会員のつながりを強める、あんしん生活支援、地域との連携、機能強化、財政の健全化の6つの委員会がスタートしています。会員一人、ひとりが、自分のこととして考え、ともに行動したく思います。あなたの声がナルクを新たなステージへ導くのです。

何事もチャレンジしてこそ、一つの作品になることを学びました

運営委員 増田 淳子

令和8年を迎えました。明けましておめでとうございます。皆さま健やかに新年をお迎えのことと存じます。私がナルクと出会ったのは、20年前のことです、ナルクの活動を知り、多くのお仲間に出会えて、様々な体験をさせていただきました。

昨年末のことです。眠っていたミシンを使うことになり、動かしてみました。すぐに糸が切れてしまい先に進めません。諦めかけましたが、分解・清掃し、油さしをして何とか作品を仕上げることができました。母の残した着物と私がワンピースの襟にした刺繍を利用して、手提げを作ってみました、もう捨てるしかないと考えていたのに・・・作品になりました。まだ何かできるかも？

新年を迎えて、この気持ちで前に進めればよいーということを学びました。

秩父学園のボランティア活動に厚生労働大臣から感謝状受ける

～多年にわたり環境整備、お掃除、花壇整備など幅広く活動を展開～

今から 30 年ほど前、新聞にナルクについて小さな記事が掲載されていました。それは、ナルク埼玉が埼玉県西部地区にも拠点を設けるため活動しているとの情報でした。

内容もよく知らないのに、なぜか心惹かれ、記事にあった連絡先に電話したのがナルクとの出会でした。

その後、ナルクの時間預託活動とともに地域でのボランティア活動に取り組むことになり、当時私が勤めていた所沢市にある秩父学園での環境整備のボランティアを提案して、皆さんで取り組んでくださることになりました。

福祉の現場は、慢性的な人手不足が続いています。利用者さんとの直接の関りはありませんが、快適な環境で生活していただくため、初めは食堂の掃除をお願いしました。朝食後から昼食の間は誰も利用していないので、床、テーブル、洗面所、流し回りなどを丁寧にお掃除していただきました。

その後、私の職場が日中の作業活動に異動となり、そこでは機織りや玉通しの作業をしていたので、その準備や作品作りを手伝っていただきました。庭でハーブを栽培し、作業が終わった後に飲んだハーブティの味は忘れられません。

その後また、異動があり、現場から離れることになったため、ボランティアの皆さんが自発的な活動できるように、学園の正面玄関の脇にある空き地と北玄関前の花壇整備をお任せすることにしました。鎌、箒などの道具は外から入れる物置に備えてもらいました。そして学園から年に数回、花の苗を買っていただいています。ボランティア作業中は、担当の方から、お茶を準備していただき、少しおしゃべりすることもあります。

会員も長年続けてきたので、愛着と責任感を感じていて、それぞれの庭に咲いた花なども持ち寄って、年中花を絶やさないように気を遣っております。また、夏祭り・クリスマス会等のイベントに招待を受け、参加させていただいています。

この度は、厚生労働大臣からナルク埼玉西拠点西武（所沢）地区の国立障がい者リハビリセンター・秩父学園の利用者のため、多年にわたる貢献活動に対して感謝状をいただき、長年のナルク会員の労苦が満たされ、心から喜び、感謝しています。これからもできる限り活動を続けていきたいと思っています。

ナルク埼玉西 可児和子

【編集担当から】表彰式の模様は、ナルク埼玉西のホームページをご覧ください。